

# 飯豊連峰保全連絡会 ニュースレター

発行者：飯豊連峰保全連絡会

## ■平成 28 年度 合同保全作業の報告について

今年度の合同保全作業は平成 28 年 9 月 10 日（土）～9 月 12 日（月）にかけて、飯豊連峰の天狗ノ庭にて実施しました。天狗ノ庭での合同保全作業は、平成 19 年の実証試験より数えて 4 回目の実施となりました。

### 【実施スケジュール】

9/10(土)天候 晴れ	9/11(日)天候 曇り	9/12(月)天候 曇り
7:00 天狗平ロッジ集合	5:00 梅花皮小屋発	7:00 梅花皮小屋着
7:30 登山開始	8:00 天狗ノ庭着	9:30 梶川尾根上部着
14:00 梶川尾根上部着 昨年度研修箇所確認	作業実施 11:50 各班長ふりかえり	登山道明示用ロープ 貼り替え
14:30 梶川尾根上部発	講評	10:30 梶川尾根上部発
17:30 梅花皮小屋着	15:30 梅花皮小屋着	14:20 梶川登山口着・解散

### 取り組み① 天狗ノ庭下部の池塘の回復（1836m 地点）

天狗ノ庭の下部には、右の写真のように大きな池塘が存在しています。ただ、登山道の崩壊等による土砂の流入に伴い、土砂で埋もれた状態になっていました。そこで今回は、この池塘を回復すべく作業を行いました。堆積した土砂を除去しながら、池塘を水が溜まりやすい形に整形。作業後から約 3 時間後には水の滲出が確認できました。池塘の形は周囲の植物に配慮してひょうたん形とし、壁面部には泥炭層を貼り付けています。この泥炭層には池塘の底に埋土していた植物の種子を貼り付けており、発芽するかどうか様子を見る予定です。なお、除去した土砂は取り組み②で土嚢袋に入れて活用しています。



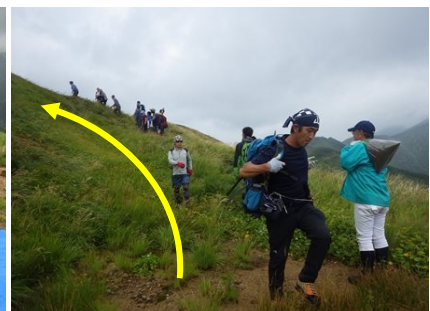
【池塘の土砂採取】



【作業後約 3 時間で水が滲出した】



【土砂をバケツリレー方式で運搬（往復 3 回）】



### 取り組み② 天狗ノ庭の地盤安定化を促す（1850m～1832m 地点）

取り組み②を行った地点では直近で平成 21 年に合同保全作業を行っており、緑化ネットの設置や、土留め工を行い、植物が生育する地盤の安定化を試みていたところでした。今回は同様の目的でそれをさらに強化、かつ広範囲に実施しております。作業は 5 班で分担し、下記のとおり実施しております。

【1班】現地に生育しているコケの葉の一部を切り取り、挿し木の要領で移植しました。移植する場所は石の影など風等による影響が少ない箇所を選んでおり、移植したコケがどのように生育するのか試みます。また、移植した場所には対照区を設置し、黄麻ネットを敷いた部分、敷かない部分でコケの生育にどのような影響がでるのかを比較します。



【1班：コケの移植】

【2班】以前の作業で、植生の回復が上手くいかなかった箇所において、再度新たな手法で植生回復を試みました。土をならして段々畑を形成し、段毎に植生ネットを敷く、根巻ロールの設置、ふるいにかけて土を被せる、池塘埋土種子の蒔種、クマの糞から得られた種子の蒔種など、試験区を設定しました。



【2班：根巻ロール等の敷設】

【3班】勾配のほぼない場所で作業を行いました。ヤシロールで海苔巻きを作って広範囲を覆い、砂防ダムを作成しました。海苔巻きの中には土、通常ヤシ繊維を混ぜていますが、途中でヤシ繊維が不足した箇所については、登山道の草刈りにより生じていた笹を代用して活用しています。なお、1班によるコケの移植等は3班の作業地にて実施しています。



【3班：砂防ダムを作成】

【4班】作業地最下部での作業を行いました。水及び土がここから下部へ流出した痕跡が見られたため、ヤシロール等で土留工を実施しています。また、上部から水、土の供給が予測される箇所には黄麻ネット、根巻ロールをそれぞれ設置しました。これによりどちらの資材でより植生の回復が見られるか比較を行います。また、以前池塘があったと思われる箇所からは堆積土砂を除去しましたので、今後池塘が回復するか様子を見ます。



【4班：麻ネット等で緑化促進】

【5班】水路にヤシ土嚢を設置し、水流の減速と土砂堆積を図りました。また、土留め用土嚢の下部に、種子を多く補充したヤシ土嚢を試験的に設置しましたので、これによる植生回復の早さを比較する予定です。他班と協力して作成した長大なヤシロールによる土留等も実施しました。



【5班：ヤシ土嚢の設置】



【全員で長大な海苔巻きに挑戦】



【当日集合写真】

作業終了後は各班長からの施工方法や意図の説明、菊池氏（山形大学農学部）と川端氏（(株)ニュージェック）による講評により、当日の作業についてふりかえりを行いました。

なお、今回の作業では、幹事の井上氏（小国山岳会）に統括リーダーとしての指揮監督、資材の運搬手配等、子細に渡ってご尽力いただきました。また、山岳会の皆様には、天狗平ロッジでの前泊や、梅花皮小屋での宿泊に係る事前に近隣の小屋との情報共有等ご対応をいただきました。

当日の作業に加え、事前の資材荷上につきましても、大勢の方々にご協力いただきました。作業に関わって頂いた飯豊連峰を愛する多くの登山者や山岳関係・地域関係者の皆様に、厚く御礼申し上げます。

#### 【発行者】

飯豊連峰保全連絡会（事務局）羽黒自然保護官事務所<sup>しももと ふるかわ</sup>（下本、古川）

〒997-0141 山形県鶴岡市羽黒町荒川字谷地堰 39-4

TEL：0235-62-4777、080-2801-0648 FAX：0235-62-4537 E-mail：RO-HAGURO@env. go. jp